別紙様式１（高）

# 令和８年度　学校経営計画表

## １　学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学校番号 | 69 | | 学校名 | 茨城県立真壁高等学校 | | | 課程 | 全日制 | | | 学校長名 | | 菊池　克明 | | | | | |
| 教頭名 | 稲垣　夏子 | | | | | | | | | | 事務（室）長名 | | 石﨑　崇 | | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 24 | 養護教諭 | 1 | 常勤講師 | 5 | 非常勤講師 | 10 | 実習教諭、実習講師、実習助手 | 7 | 事務職員 | 4 | 技術職員等 | 9 | 計 | 60 | | |

| | | １年 | | ２年 | | ３年 | | ４年 | | 合計 | | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小学科 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | クラス数 |
| 生徒数 | 普通科 | 9 | 5 | 2 | 10 | 2 | 1 | － | － | 13 | 16 | 3 |
| | 農業・環境緑地科 | 18 | 3 | 17 | 1 | 13 | 1 | － | － | 48 | 5 | 3 |
| | 食品化学科 | 2 | 12 | 7 | 9 | 4 | 10 | － | － | 13 | 31 | 3 |

## ２　目指す学校像

県立明野高等学校の伝統文化を融合しつつ全ての教育活動をとおして、教養と豊かな人間性を培い、地域に広く貢献する人間を育成する。

〇一人一人の生徒を大切にし、対話を基本としたきめ細かな教育を行う学校

〇自分の将来を深く考え、主体的に進路実現ができる能力を育む学校

〇地域と共生し、地方創生に貢献できる教育を行う学校

## ３　三つの方針（スクール・ポリシー）

| | |
|---|---|
| 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー） | 〇教養と豊かな人間性を培い、地域の魅力を理解し、地方創生に貢献できる人財<br>〇人間尊重の心を持ち、社会の変化に主体的に対応できる、心豊かな人財<br>〇自分の個性を大切にし、対話による高いコミュニケーション力を持つ人財<br>〇自分の将来を深く考え、主体的に進路実現ができる人財 |

別紙様式１（高）

| | |
|---|---|
| 教育課程の編成及び実施に関する方針<br>（カリキュラム・ポリシー） | ○県立明野高等学校との機能を統合により生徒の実態に応じた特色ある教育課程と多様な進路希望の実現<br>○３年間を見通したキャリア教育を推進し、地域等と連携した探究的活動の充実を図り、生徒の進路希望実現 |
| 入学者の受入れに関する方針<br>（アドミッション・ポリシー） | ○夢を実現するための確かな学力を育もうとする生徒<br>○主豊かな心と健やかな体を育み主体的に活動等に取り組める生徒<br>○将来、地域社会に貢献するため、農業・石材・食品の知識・技能を極めようとする意欲のある生徒<br>○地域を理解し、地域の人々と協働して学ぶことが出来る生徒<br>○進路実現のため、資格取得や検定への取り組みに意欲がある生徒 |

４　現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|---|---|---|
| 生徒支援 | 基本的生活習慣や規範意識について課題のある生徒が一部にみられた。このため、学校生活に意義を見出せず、問題行動や進路変更につながる傾向がある。 | 社会生活で重要な､好ましい人間関係づくりや基本的生活習慣、規範意識、自己肯定感をどのように育成するか。また、社会の一員として、どのように社会と関わり合いを持ち､自分の存在意義を自覚させる。 |
| 学習指導 | 基礎学力が乏しい生徒が多いため､学習習慣や授業に取り組む意欲、態度が身に付いていない生徒が多い。また、幅広い学力差の中での授業や配慮を要する生徒への支援など､多種多様な指導方法や個に応じた支援が必要である。 | TT 授業、習熟度別学習、ICT 端末等の活用により、分かりやすい授業を展開することで、学習に対する意欲や態度を向上させ､基礎学力の定着を図るとともに､学習習慣をどう身に付けさせるか。また、そのために、ユニバーサルデザイン |

| | | |
|---|---|---|
| | | （UD）の視点による授業改善をどのように進める。 |
| 進路指導 | 自らの将来の人生設計や進路に対する意識や行動力に課題がある。そのため、進路希望の実現が未達成の生徒が一部に見られる。 | ３年間を見通した進路指導の充実を図り、進路を主体的に選択する能力や態度をどう育成する。 |
| 特別活動 | 学校行事には積極的に参加しているが、学校の小規模化により、部活動や生徒会活動、農業クラブ活動、ホームルーム活動が低調傾向である。このため、リーダーシップを育成する場面が減少傾向にある。<br>キャリアパスポートを活用しながら、進路行事等の振り返りを行っている。 | 部活動の加入率や参加率を向上させるとともに、生徒会や農業クラブの活動を通して自ら考え主体的に行動する能力をどう育成するとともにキャリアパスポートの活用を充実させる。 |
| 働き方改革 | 令和７年度の真壁高校職員の時間外在校時間は、平均月10時間24分であり、45時間以内に収まっていることから、本校では概ね勤務時間に関しての働き方改革はできていると言える。 | 教育改革課による勤務時間の調査から学校全体としての時間外勤務は概ね削減できている。Wi-Fi環境の安定化を図り、職員間の情報共有にさらなるICT化を試みるとともに、仕事の平準化を進め、休みやすい職場環境を構築する。 |

５　中期的目標

| |
|---|
| １　生徒に寄り添い、向き合う指導を基本として、基本的生活習慣はもとより、集団生活でのルールやマナーについて自覚を高め、規律ある学校生活の確立を図り、問題行動・いじめの未然防止に努める。<br>２　生徒の実態に応じた特色ある教育課程を編成し、ICTの有効的活用や指導と評価の一体化による授業の改善に努め、基礎学力の定着と学習習慣を身に付けさせる。<br>３　キャリアパスポートを活用しながら、３年間を見通した系統的なキャリア教育を進めるとともに、地域等と連携した探究的取組の充 |

| |
|---|
| 実を図ることで、地域社会に貢献できる有為な人材を育成する。<br>４　学校生活、学校行事、生徒会活動及び部活動等の一層の充実を図り、生徒が主体的に取り組み、活気あふれる中にも規律ある学校生活を創造する。<br>５　県立明野高等学校との機能統合を推進するために、ＰＴＡ、同窓会及び地域社会と連携して学校支援体制を整え、ホームページ等を活用して本校の教育活動を積極的にＰＲする。<br>６　業務の精選や平準化を積極的に図り、生徒に寄り添い、向き合う時間を増やすとともに、教職員のウエルビーイングの向上とスキルアップの場を確保する。 |

## ６　本年度の重点目標

| 重点項目 | 重点目標 |
|---|---|
| ・あいさつの励行<br>・基本的生活習慣と授業規律の確立<br><br>・安全な学校づくりの推進 | ①　登下校時、授業・実習、部活動等を通して、場に合ったあいさつの励行を促す。<br>②　生徒のよい面を認めて伸ばす指導を基本にする一方、毅然とした粘り強い指導を徹底し、基本的生活習慣と授業規律を確立する。<br>③　生徒観察・面談等を通して生徒理解に努めるとともに、家庭や関係機関等と連携していじめなどのない安全な学校づくりを推進する。 |
| ・生徒の実態に合った指導<br><br><br>・基礎学力の確実な定着<br><br><br>・自学自習の態度の育成 | ④　UD の視点による分かりやすい授業として、TT 授業、習熟度別学習、ICT 端末等の活用による指導を拡充するとともに、指導と評価の一体化により「主体的・対話的で深い学び」となる授業改善を実施し、生徒の実態に合った指導を展開する。<br>⑤　各教科との連携を密にしつつ、教科横断的な学習内容や指導方法を展開し、多面的・多角的に生徒一人一人の学習状況を把握して基礎学力の確実な定着を図る。また、各教科でドリルを実施し、基礎学力の定着を補完する。<br>⑥　学習習慣を身に付けさせるとともに、認知トレーニングの実施で、社会面や学習面の支援を行うことで、さらなる学ぶ意欲の向上を図り、併せて、補講や個人指導 |

別紙様式１（高）

| | |
|---|---|
| | を実施して自学自習の態度を育成する。 |
| ・生徒の現状に合わせた授業改善 | ⑦　観点別評価「C」の生徒に対し、評価の向上を図るとともに、個に応じた授業展開を含めた、生徒に即した授業改善を行う。<br>⑧　生徒の授業評価アンケートについて、個人では１回目→2 回目での上昇を、学校全体としては授業満足度全員 3.3 以上、全体の評価平均 3.2 以上とアンケート回収率 100％を目指す。 |
| ・計画的・系統的な進路意識の啓発 | ⑨　大学進学者 10 名以上を目指す。<br>⑩　進路だより、学年集会や進路ガイダンス等を活用して、計画的・系統的に進路意識の啓発を図る。 |
| ・地域を担う人材の育成 | ⑪　ラーケーションを活用しインターンシップや地域貢献活動などの体験的活動の積極的な実施、地域人材の積極的活用、資格取得の奨励等を通して勤労観や職業観の醸成を育み、地域を担う人材育成を進める。 |
| ・自分で考え表現する力の養成 | ⑫　社会においては、場を弁えたコミュニケーション能力や態度が重要であることを踏まえ、進路活動を通して、自己を深く認識し、自分で考え表現する力を培う。 |
| ・キャリアパスポートを活用し、主体的に取り組む態度の育成 | ⑬　学校行事や生徒会活動に生徒が主体的に参加・運営し、成就感や自己有用感・達成感を高められるよう支援する。 |
| ・特別活動への積極的な参加の奨励 | ⑭　部活動への加入を奨励し帰属意識を高めるとともに、農業関連高校として各種コンテストや発表会等への積極的な参加を奨励する。 |
| ・キャリアパスポートを活用し、豊かな心を育む教育活動の充実 | ⑮　校内美化の徹底及びボランティア活動や社会教育活動等の推進により、生徒の自主性と豊かな心を育む。 |
| ・保護者や地域と連携した教育活動 | ⑯　学校行事、学校説明会、授業公開、農業を活用した取組等を通して、開かれた学校として本校の教育活動を理解していただき、協働して本校の一層の活性化を図り、保護者や地域と連携した教育活動を展開する。 |

別紙様式１（高）

| | |
|---|---|
| ・積極的な教育活動の情報発信<br><br>・創意工夫を生かした事業の推進<br>・明野高校との機能統合による連携 | ⑰　生徒の活動や活躍を本校ホームページにタイムリーに掲載し、積極的な教育活動の情報を発信する。<br>⑱　チャレンジプロジェクト事業の地域魅力化型である『「真壁サンシャイン」プロジェクト Next Stage』を精力的に展開し、本校の特色と地域の特性を踏まえた創意工夫を生かした事業を推進する。 |
| ・働き方改革の推進 | ⑲　校務分掌において、業務の精選と平準化を進めるとともに、チーム体制の強化により全職員が連携し、業務の見直し・再配分、軽減を図る。<br>⑳　部活動においては、顧問以外の教員が、引率をできるよう配置し、一部の教員に引率の負担が偏らないようにする。また、部活動指導員等の配置を行うとともに、練習方法を工夫するなどして、効率的な運営に努める。 |